



日進北小だより

平成30年11月1日
第7号

TEL 048-663-1842

<http://nisshinkita-e.saitama-city.ed.jp>

学校教育目標

心身ともに健康で、自ら学び、自ら考え、判断し、行動できる子どもを育成する

感謝の気持ちを育てる

校長 宇佐見 弘幸

10月15日(月)・16日(火)、6年生と一緒に修学旅行で、日光に行ってきました。今年は、宿泊先で一般のお客様とご一緒することになりました。せっかくのご旅行に、ご迷惑をおかけしないだろうか心配しておりましたが、出発直前に、宿泊先の社長さんからあるお客様からのお話をお聞きしました。その方は、私たちが出発するときの集会をご覧になっておっしゃったそうです。「こんなにたくさん子どもたちがいるとは思えないほど静かだった。最近の子どもたちが、こんなに集中して話を聞き、返事ができるとは思わなかった。修学旅行の子どもたちと一緒に宿泊だと聞いて、心配していたが、とてもよい気持ちになった。」ということでした。このような行動は、修学旅行の二日間だけ特別にできることではないと思います。日頃からの生活習慣が、結果として現れたのだと思います。大変うれしく思いました。



さて、11月になりました。10日(土)は、1校時に「ありがとう集会」を行います。日頃お世話になっている地域の方々をお招きし、感謝の気持ちをお伝えする集会です。また、23日(日)は勤労感謝の日です。「勤労をたっどび、生産を祝い、国民たがいに感謝しあう日。」とされています。子どもたちは、日々の生活の中で、たくさんの方々を支えられています。学校の外には、登校や安全を見守ってくださっている方、様々な行事を企画し、運営してくださる方、学習活動を支援してくださる方などがいらっしゃいます。家庭には、毎日食事の支度をし、毎日のお仕事で家計を支えているご家族がいらっしゃいます。学校には、毎日の学習活動を展開する教員、環境を整備したり、給食を提供したりする職員などがいます。この機会に、普段気づきにくい身近な人たちの自分たちへの心遣いに気き、感謝の気持ちを育ててほしいと思います。日本人の好きな言葉として「ありがとう」という言葉があります。子どもたちにとって、周りの人がいろいろやってくくださることは当然のこととして受け取りがちです。しかし、周りの人のご苦労や気遣いは決して当たり前のことではありません。周りの人たちがしてくれていることに気づき、「ありがとう」ということを素直に表現できる子どもに育ててほしいと思います。

9月30日(日)から10月1日(月)にかけて、台風24号が日本付近を通過しました。記録的な強風が吹き、本校では、給食室横の巨木が倒れる被害がありました。この倒木により、学校北側の道路が一時的に通れなくなってしまいました。ご近所の皆様方には大変なご迷惑とご心配をおかけして申し訳ありませんでした。